

2. 指標設定

成果指標	指標名	秩序ある都市形成		目標年度	H27				指標の設定理由			
	数値				総合計画／後期基本計画において、基本施策(2-1-2)の目標としているため							
活動指標	指標	a	都市計画マスタープラン策定	b	都市計画区域の見直し	c	都市計画施設の見直し	d				
	数値	目標	策定済	目標	—	目標	—	目標				

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
秩序ある都市形成		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 都市計画マスタープラン策定		—	—	—
b 都市計画区域の見直し		—	—	—
c 都市計画施設の見直し		—	—	—
d				

4. 課題と対応

課題
未着手の都市計画施設がある。
対応（改善点等）
都市計画の見直しを進める。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

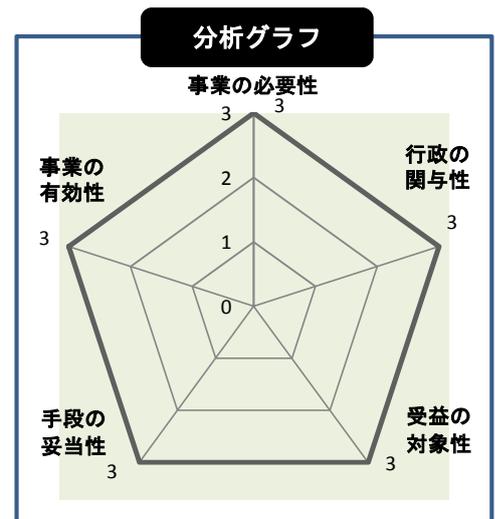
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		2,015	3,870	2,570	397
うち経常経費		209	258	964	397
財源内訳	国費				
	県費		9	6	
	市債				
	その他	55	40	39	2
	一般財源	1,960	3,821	2,525	395
うち経常		209	209	919	395
事業費に係る人件費		2,773	2,847	2,795	2,791

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
必要事務経費である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の都市計画の根幹となるものが必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 都市計画法により市が定める必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 区域外の人でも都市施設は利用する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 マスタープランが基礎となる
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 マスタープラン策定完了



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	マスタープランに基づき効果的な事業実施に努めること